

県立高校トイレ改修工事共通仕様

長野県教育委員会事務局 高校教育課

〔適用範囲〕

トイレ使用実態調査の結果、臭気の是正や設備機器の更新等の要望が多く寄せられており、利用頻度が高く洋式化率が低い箇所から優先的に改修するため、既存トイレの総合整備（室単位の改修）については、以下の改修仕様を適用する。

〔改修仕様〕

建 築	
床	<ul style="list-style-type: none">・段差解消のうえ、長尺塩ビシート貼り（抗菌仕様）により乾式化を原則とする・床仕上材は汚れ等に配慮した色彩とする
壁	<ul style="list-style-type: none">・下地改修のうえ、化粧ケイカル板（継ぎ目はシール材）とする・仕上げ材として一部県産材利用を学校と協議のうえ検討する・電気配線等が露出とならないような納まりを検討する
天 井	<ul style="list-style-type: none">・メンテナンス性を考慮し、化粧石膏ボード（直貼り）とする・表面デザイン、サイズ、貼り方を検討する・点検口を適宜設置する
天 板	<ul style="list-style-type: none">・ポストフォームとする・手洗い器部分のライニング巾は学校の利用状況により検討する
トイレブース	<ul style="list-style-type: none">・内開き戸を基本とし、表面を高圧メラミン化粧板（心材はパーティクルボード）、巾木タイプとする・高さは1900～2000mmまでとし、Rエッジ、非常解グレビティヒンジを採用する・掃除流しはトイレブース内に設置することとし、棚やフックなどの掃除用具の収納も設置する
巾 木	<ul style="list-style-type: none">・塩ビ製若しくは床巻き上げとする
出入口	<ul style="list-style-type: none">・交換を基本とし、劣化状況により塗装も検討する・スペースなどを考慮し、引き戸の採用も検討する・枠は既存利用を基本とし、框については劣化状況により更新する
サイン	<ul style="list-style-type: none">・トイレの案内用図記号はJIS Z8210を基本とするが、デザインや色彩に関しては学校と協議のうえ決定する・室名札の新設若しくは更新については学校と協議する
その他	<ul style="list-style-type: none">・いながら工事となるため、内装改修を主とし、躯体の改修や外装に影響を及ぼす工事は最小限にする

電気設備	
照明器具	<ul style="list-style-type: none">・全灯人感センサーと連動したLED照明とする・直付け器具を基本とし、比較検討のうえダウンライトも可とする・手洗い器部分の鏡上には壁掛け照明器具を設置する
コンセント	<ul style="list-style-type: none">・壁埋め込み式とする
分電盤	<ul style="list-style-type: none">・電力使用量の増加により、必要に応じて改修する
火災報知器	<ul style="list-style-type: none">・所管消防署に協議のうえ、感知器などの更新または新設を行う
その他	<ul style="list-style-type: none">・配管、配線は隠ぺいとする・照明器具、換気扇の入切が行えるようスイッチを設置する

機械設備	
大便器	<ul style="list-style-type: none"> ・全数床置き型洋式便器とする ・各男女トイレの1か所は温水洗浄機能付き便座を設置（樹脂製L型手摺も設置）し、その他の大便器は暖房便座を設置する ・水压状況により給水方式を検討する ・今後の改修に備え、暖房便座設置箇所に温水洗浄機能用の給水を床上まで設置する
擬音装置	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄機能付き便座リモコンに設置する ・その他は必要に応じて設置する
紙巻き器	<ul style="list-style-type: none"> ・SUS製棚付き2連とする
小便器	<ul style="list-style-type: none"> ・壁掛け式低リップとし、自動水栓感知器一体型とする ・樹脂製手摺を1か所設置する ・足元には汚垂石を設置する
手洗い器	<ul style="list-style-type: none"> ・壁掛け式とし、カウンターは設置しない ・水栓は立水栓（ゲースネックなど）を基本とし、自動感知式とする ・手動水石鹸供給栓の設置は学校と協議する
鏡	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い器ごとに標準的な耐食鏡を設置する ・トイレ内の壁等に姿見鏡を1枚設置する
掃除流し	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的なものをトイレブース内に設置する
換気扇	<ul style="list-style-type: none"> ・天井付けを基本とし、人感センサー連動タイプに改修する ・サッシに換気扇等を組み込む場合は、断熱パネルとする
パネルヒーター	<ul style="list-style-type: none"> ・自然滞留式（いたずら防止カバー設置）とし、壁等に設置する ・サーモスタットは5度設定とする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・配管は横引き配管のみ更新する。系統分けされていない場合は止水バルブ（分岐バルブ）を新設する ・配管、配線は隠ぺいとし、吸気弁は目立たない箇所に設置する ・メンテナンスを考慮し、床掃除口を適宜設置する

[共通事項]

- ・改修後の衛生器具数、配置計画などは、将来の生徒数の予測推移、現状の利用状況などを考慮して学校、高校教育課と協議のうえ決定する。
また、現状においても女子トイレの利用待ち行列などが発生している場合は、改修前の衛生器具数は最低限確保することとし、レイアウト検討結果によっては男女間のトイレ位置入れ替えること等により改善を行う。
- ・工事期間中の仮設トイレは設置しないものとし、他の既存トイレを活用して工事を行う。

[令和7年12月改定]